

キャリアパス基準（例）

1 等級

等級	1等級	2等級	3等級	4等級	5等級	6等級	7等級
等級要件	指導を受けながら日常的な業務を行う。	自立して日常業務ができる。	ユニット等小規模の部門でリーダーシップを発揮し、部門をまとめることができる。チーム介護ができる。	ひとつの部門でリーダーシップを発揮し、部門をまとめることができる。部門間の調整能力がある。	複数部門の統括ができる。施設運営に関して、全般的な意見を持ち、施設長等をサポートできる。後輩の教育をしている。	複数部門をまとめ、全体の運営について意見をもち、施設長、法人本部等を支えることができる。	施設長等として、法人全体のマネジメントに関わる。
職階イメージ	・高卒、専門学校卒新任 ・中途入職、非常勤からの移行（介護福祉士未取得） ・中途入職（経験年数4年未満）	・大卒新任 ・1等級からの昇格（介護福祉士取得済） ・中途入職（経験年数4年以上、介護福祉士取得済）	・ユニットリーダークラス ・経験年数5年以上	・介護長クラス（副主任クラス） ・介護チームの中でも特養だけでなく、他の部門（デイ等）を経験、内容が分かる	・主任、係長クラス ・介護部門だけでなく、他部門（相談、看護、事務）等の内容が分かり、調整できる	・課長、事務長クラス ・施設長をささえる	・理事長、理事待遇 ・法人本部長、施設長

2 職位

理事長、理事待遇							◎
法人本部長							◎
施設長						○ → ◎	◎
事務長						◎	○
課長					○ → ◎	◎	○
課長補佐					◎		
係長				○ → ◎	◎		
主任				◎			
副主任			○ → ◎	◎			
フロアリーダー			◎				
リーダー		○ → ◎	◎				
職員	○（介福士なし） → ◎	◎					
入職時：大卒		◎					
入職時：短・専門卒	○（介福士なし）	◎					
入職時：高卒	◎						

注) ○、◎は当該等級に該当する職位で、○となった職員が次の等級へスライドする。

3 資格要件

国家資格A			○（勤続3年以下）	◎	◎	◎	◎
福祉上級資格		○（勤続1年以下）	◎	◎	◎	◎	◎
国家資格B		○（勤続3年以下）	◎	◎	○	—	—
介護福祉士		◎	◎	◎	○	—	—
社会福祉主事	◎	○（リーダー以上）	◎	○	—	—	—
ヘルパー1,2級	◎	○					
無資格	○						

注)・国家資格A:看護・国家資格A:看護師、保健師、司法書士、社会保険労務士
 ・福祉上級資格:ケ・福祉上級資格:ケアマネージャー、社会福祉士、精神保健福祉士
 ・国家資格B:管理:・国家資格B:管理栄養士、准看護師、行政書士、日商簿記1級
 ・◎は、当該等級で持っていることが望ましい資格で、○は次の等級への向けて持つべき資格や要件。

4 号俸額

初号俸	135,100	142,300	151,300	163,900	199,900	254,500	325,900
最高号俸	149,800	166,800	185,600	212,900	263,600	337,800	443,500

(参考)

大卒	—	初任給	資格取得 (勤続5年)	係長35歳 (勤続12年)	課長42歳 (勤続20年)	施設長52歳 (勤続30年)
基本給	—	151,300	159,000	199,900	257,900	300,000
・資格手当	—	—	15,000	15,000	20,000	20,000
・夜勤手当	—	24,000	30,000	30,000	—	—
・職位手当	—	—	—	25,000	40,000	60,000
・扶養手当	—	—	—	27,000	27,000	16,000
計	—	175,300	204,000	296,900	344,900	396,000